

I 改訂の概要

1 改訂の背景

岡山県では、県内における絶滅のおそれのある野生動植物の現状を把握し、地域における適切な野生動植物の保護や自然環境保全施策の推進を図ることを目的として、2003年に「岡山県版レッドデータブック」を作成し、2010年に改訂した。

県版レッドデータブックでは、国内他地域では豊富に生息・生育していながら県内ではわずかしか生息・生育していない種、あるいは、本県の固有種や局地的に生息・生育環境が限定されている種の実態を明らかにし、全国レベルのレッドデータブックでは把握しきれない地域の自然の現状を把握し、環境アセスメントの審査や開発行為と自然保護との調整を図る上で、また、野生動植物の保護対策を講じる上での基礎資料として活用してきた。

これまで、多くの野生動植物が絶滅の危機に瀕していることを、県版レッドデータブックを通じて周知を行い、自然環境保全意識の高揚を図ってきたところであるが、野生動植物の生息状況は常に変化しており、また、野生動植物の分布や生息・生育状況について、毎年新たな知見が得られていることなどから、適正な保護対策を講じるためにもレッドデータブックの定期的な見直しが必要となっている。

2010年の県版レッドデータブックの作成後10年が経過していることから、このたび改訂を行うこととした。改訂に際しては、「岡山県野生動植物調査検討会」による調査、検討を踏まえ、新たな知見や、野生動植物の現状を反映させている。

2 作業体制

改訂作業に当たっては、野生動植物について優れた学識経験を有する委員から構成する「岡山県野生動植物調査検討会」において、2010年の岡山県版レッドデータブックの作成以降、毎年度データの収集及び更新を行った。

また、検討会における体制は、「運営委員会」において、作業方針や事業スケジュールなど検討会の事業に関する重要事項を協議・決定し、「動物部会」、「昆虫部会」及び「植物部会」において、それぞれの対象分類群で選定作業を実施した。

岡山県野生動植物調査検討会の委員は次のとおりである。なお、委員以外の者で、野生動植物に関し重要な情報を有しており、データの収集や原稿執筆等、検討会の事業にご協力をいただいた方を協力員として掲載した。また、本改訂に当たり、写真提供・情報提供等のご協力をいただいた個人や団体について、協力者及び協力団体として掲載した。

◇「岡山県野生動植物調査検討会」(41名)

会 長 千葉喬三 (中国学園大学 学長)

特別顧問 青野孝昭 (倉敷昆虫同好会)

〔動物部会〕(12名)

部会長 江田伸司 (倉敷市立自然史博物館 学芸員)

副部会長 野嶋宏一 (株式会社ウエスコ)

副部会長 丸山健司 (日本野鳥の会岡山県支部 支部長)

阿部 司 (株式会社ラーゴ (生物多様性研究室室長))
小林秀司 (岡山理科大学 准教授)
阪田睦子 (公益財団法人岡山県環境保全事業団 岡山県自然保護センター)
坂本明弘 (倉敷市立自然史博物館友の会)
洲脇 清 (倉敷の自然をまもる会)
多田英行 (日本野鳥の会岡山県支部)
中田和義 (岡山大学 准教授)
福田 宏 (岡山大学 准教授)
山田 勝 (岡山県自然保護センター友の会)

〔昆虫部会〕 (12名)

部会長 伊藤國彦 (岡山県立大学 名誉教授)
副部会長 奥島雄一 (倉敷市立自然史博物館 学芸員)
副部会長 吉鷹一郎 (岡山野生生物調査会)
加藤 学 (山田養蜂場 養蜂部)
末宗安之 (倉敷昆虫同好会)
高橋 元 (岡山県立早島支援学校)
中村具見 (日本蝶類科学学会 理事)
守安 敦 (倉敷昆虫同好会 幹事)
山地 治 (岡山昆虫談話会)
吉澤聡史 (東洋産業株式会社)
渡辺昭彦 (岡山昆虫談話会)
渡辺和夫 (岡山市役所)

〔植物部会〕 (12名)

部会長 波田善夫 (岡山理科大学 名誉教授)
副部会長 榎本 敬 (倉敷市立自然史博物館友の会 評議員)
副部会長 狩山俊悟 (倉敷市立自然史博物館 学芸員)
太田 謙 (岡山理科大学 研究・社会連携室)
片岡博行 (医療法人創和会 重井薬用植物園 園長)
片山 久 (倉敷市立自然史博物館友の会)
地職 恵 (元岡山県自然保護センター)
西村直樹 (岡山コケの会)
西本 孝 (元岡山県自然保護センター)
星野卓二 (岡山理科大学 教授)
森定 伸 (株式会社ウエスコ)
山下 純 (岡山大学資源植物科学研究所 助教)

〔その他委員〕 (3名)

小林利昭 (公益財団法人岡山県環境保全事業団 常務理事)
難波靖司 (公益財団法人岡山県環境保全事業団 岡山県自然保護センター 所長)
岡山県環境文化部自然環境課長

〔事務局〕

公益財団法人岡山県環境保全事業団

◇協力員

- 〔動物部会〕 浅田 要（岐阜大学応用生物科学部）
浅見崇比呂（信州大学学術研究院理学系）
東川洸二郎（笠岡市立カブトガニ博物館）
阿部博和（岩手医科大学教養教育センター）
石田 惣（大阪市立自然史博物館）
伊藤邦夫（元川崎医科大学付属高等学校）
伊藤颯真（高知大学理工学部生物科学科）
伊藤 舜（東北大学大学院生命科学研究所）
乾 隆帝（福岡工業大学社会環境学部（水圏環境生態学））
岩崎敬二（奈良大学文学部地理学科）
上地健琉（近畿大学農学部環境管理学科）
内田翔太（東北大学大学院生命科学研究所）
大谷ジャーメンウイリアム（滋賀県甲賀市）
小川 洋（海の生き物を守る会）
香川 理（東北大学大学院生命科学研究所）
柏尾 翔（きしわだ自然資料館）
亀田勇一（国立科学博物館分子生物多様性研究資料センター）
木村昭一（三重大学大学院生物資源学研究科）
木村妙子（三重大学大学院生物資源学研究科）
久保弘文（沖縄県海洋深層水研究所）
Frank Köhler（Australian Museum）
越山洋三（フィールドデータ）
近藤高貴（大阪教育大学）
齊藤 匠（東邦大学理学部生物学科）
佐藤大義（琉球大学理学部海洋自然科学科）
佐藤正典（鹿児島大学大学院理工学研究科）
佐野 勲（東北大学大学院生命科学研究所）
締次美穂（南紀生物同好会）
末永崇之（元東北大学大学院生命科学研究所）
瀬尾友樹（近畿大学大学院農学研究科）
惣路紀通（笠岡市立カブトガニ博物館）
多田 昭（東かがわ市）
田中正敦（鹿児島大学大学院理工学研究科）
多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター）
千葉 聡（東北大学東北アジア研究センター・大学院生命科学研究科）
鶴崎展巨（鳥取大学）
John D. Taylor（The Natural History Museum,London）
富川 光（広島大学大学院教育学研究科）
中原ゆうじ（株式会社緑生研究所）
芳賀拓真（国立科学博物館地学研究部）

花岡皆子（海洋生態研究所）
 早瀬善正（株式会社東海アクアノーツ）
 Ángel A. Valdés（Department of Biological Sciences, California State Polytechnic University, Pomona）
 平野尚浩（東北大学東北アジア研究センター・大学院生命科学研究科）
 平野弥生（千葉県立中央博物館分館海の博物館）
 Winston F. Ponder（Australian Museum）
 森信 敏（笠岡市立カブトガニ博物館）
 元陳力昇（一般財団法人自然環境研究センター）
 柳 研介（千葉県立中央博物館分館海の博物館）
 山崎大志（東北大学東北アジア研究センター）
 吉松定昭（元香川県水産試験場）
 和田太一（NPO法人南港ウェットランドグループ）
 渡部哲也（西宮市貝類館）
 日本野鳥の会岡山県支部 落合野鳥の会 笠岡野鳥の会 作州野鳥の会 高梁野鳥の会
 〔昆虫部会〕 大生唯統（公立鳥取環境大学）
 末長晴輝（倉敷市）
 千田喜博（庄原市立比和自然科学博物館）
 中浜直之（兵庫県立人と自然の博物館）
 野崎達也（株式会社ウエスコ）
 野嶋宏一（株式会社ウエスコ）
 藤澤侑典（学校法人淳和学園 蒼明学院中等部）
 渡部晃平（石川県ふれあい昆虫館）
 〔植物部会〕 浅井幹夫（岡山県文化財保護指導員）
 池田 博（東京大学総合研究博物館）
 猪 雅人（公益財団法人岡山市公園協会）
 岡田智子（岡山市半田山植物園）
 岡本泰典（倉敷市立自然史博物館友の会）
 小島裕子（倉敷市立自然史博物館友の会）
 片岡法子（倉敷市立自然史博物館友の会）
 川合啓二（岡山コケの会）
 熊瀬徳輝（公益財団法人岡山市公園協会）
 小見山節夫（公益財団法人日本鳥類保護連盟岡山県支部）
 古屋野寛
 島岡浩恵（倉敷市立自然史博物館友の会）
 (故)高田眞一（元岡山県植物研究会）
 高山敬三（倉敷市立自然史博物館友の会）
 高原千春
 (故)立石幸敏（岡山コケの会）
 難波靖司（公益財団法人岡山県環境保全事業団 岡山県自然保護センター 所長）
 松本哲也（岡山大学大学院環境生命科学研究科）
 三好 薫

矢野興一（岡山理科大学）

雪江祥貴（津黒いきものふれあいの里）

◇協力者及び協力団体

〔動物部会〕 秋山 登 安治敏樹 岡崎和子 岡崎肇夫 岡崎 誠 影山克己
香西宏明 片山貴之 國方春行 栗岡武史 小林健三 洪楸 啓
島本 明 坪井信澄 西村由紀子 延江勝彦 長谷川和範 濱伸二郎
濱 孝志 藤井聖三 古田和生 三木國弘 三村啓子 宮 彰男
三宅和子 三好 薫 村上義徳 森末善昭 森本明倫 矢野重文
和気秀徳 Karina Moreno David G. Reid

大阪市立自然史博物館 岡山大学医学部 鏡野町教育委員会 倉敷市立自然史博物館
国立科学博物館 軟体動物多様性学会 西宮市貝類館 日本貝類学会多様性保全委員会
福井市自然史博物館

〔昆虫部会〕 青野孝昭 (故)池田綱介 市毛勝義 井上 清 井上泰江 岩城孝志
岩田泰幸 江木寿男 大草伸治 北山 拓 黒田健二 小松 貴
近藤光宏 清水 晃 角南海心 関根一希 高井幹夫 館 卓司
谷田一三 東城幸治 長瀬博彦 中野一成 中村剛之 西本浩之
福田竹美 松本光平 水井颯麻 水元 誠 三宅誠治 安田剛長
矢代 学 山田 勝 渡辺恭平 村尾竜起 藤谷俊仁 内田臣一
野崎隆夫

神奈川県立生命の星・地球博物館 株式会社山田養蜂場

九州大学大学院比較社会文化学府・生物体系学教室 倉敷昆虫館

倉敷市立自然史博物館 自然環境研究所

〔植物部会〕 (故)井木張二 池畑智江 (故)池畑怜伸 稲岡 勝 (故)大久保一治
(故)小島辰三 木口博史 (故)斎藤彰男 佐棄信也 谷口啓一
西平直美 三村照治 和田 優

岡山大学資源生物科学研究所 倉敷市立自然史博物館

3 調査経過

岡山県版レッドデータブックの改訂に先立ち、平成30年度において、岡山県野生生物目録の改訂を行った。目録の改訂にあたっては、岡山県野生生物目録（2009）を基に、その後新たに確認された情報を反映するとともに、名称等の変更があったものについては最新のものに改めた。

また、目録の改訂にあわせて、岡山県版レッドデータブックのカテゴリーの評価を再度行った。平成10年度から今回の改訂に至る取り組み事項については、以下のように実施した。

調査の実施フロー

年 度	事 項
平成10年度	「岡山県野生生物調査検討会」の設置
平成14年度	「レッドリスト」の確定 『岡山県版レッドデータブック』『岡山県野生生物目録』の発刊
平成15年度 ～平成19年度	「岡山県野生動植物調査検討会」の設置 生息・生育情報の収集，データベースの更新
平成20年度	『岡山県野生生物目録2009』の発刊
平成21年度	『岡山県版レッドデータブック2009』の発刊
平成22年度 ～平成29年度	生息・生育情報の収集，データベースの更新
平成30年度	『岡山県野生生物目録2019』の発行
平成31年度	「岡山県版レッドデータブック2020」の原稿執筆 ↓ 『岡山県版レッドデータブック2020』の発刊

4 対象分類群

生物は、プランクトンなど顕微鏡的な大きさのものから哺乳類に至るまで様々な種が見られるが、本調査の対象とする分類群は、以下の野生生物とした。

なお、意図的・非意図的にかかわらず、県内に移入された種については調査対象外とした。

動物・・・脊椎動物（哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，汽水・淡水魚類）

無脊椎動物——昆虫類

昆虫類以外の無脊椎動物

（頭索動物，尾索動物，半索動物，棘皮動物，珍無腸動物，
節足動物，類線形動物，環形動物，軟体動物，毛顎動物，
紐形動物，腕足動物，箒虫動物，苔虫動物，内肛動物，
扁形動物，二胚動物，有櫛動物，刺胞動物，海綿動物）

植物・・・維管束植物（シダ植物，種子植物）

維管束植物以外の植物（コケ植物）